

## 民間財団による若手研究者支援の取組み（事例紹介）

一般財団法人 **山岡記念財団**（常務理事 雪野弘泰）

## 設立趣旨

ヤンマーの創業者である 山岡孫吉翁は、ドイツでディーゼルエンジンに出会い、そのことがきっかけで、世界初の小型ディーゼルエンジンを開発に成功し、ヤンマー事業の礎を築きました。ルドルフ・ディーゼル博士ならびにドイツへの感謝の念を深く抱くとともに、日独の文化交流の重要性を強く認識し、日独文化交流のために力を尽くしました。

本財団は、創業者の思いを引き継ぎ、継承するために設立されました。次世代を担う若者を中心に多方面にわたる日独の文化交流により、持続可能な社会の実現に貢献します。



アウグスブルグ ディーゼル記念石庭



The developer of the world's first  
small diesel engine  
Founder of YANMAR,  
Magokichi Yamaoka  
1888 -1962

2016年11月14日  
一般財団法人山岡記念財団  
理事長 山岡 健人



学術

- ・日独の自然科学、人文科学  
若手研究者の交流の場の提供

芸術

- ・ドイツ留学の新進芸術家の発表の場の提供
- ・次世代を担う若者に世界のトップレベルに触れる機会の提供

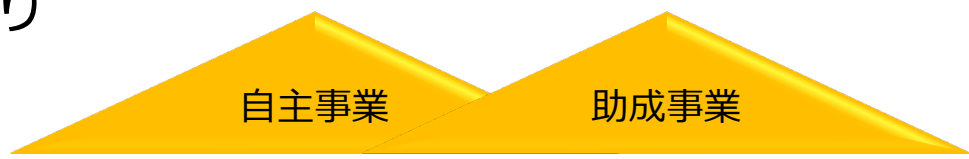
スポーツ

- ・サッカーにおけるドイツと日本（ユースチーム）の交流

人的交流

- ・ドイツ人から見た日本、日本人からみたドイツ
- ・賛助会員、ドイツ旅行

場作り



## 助成プログラムの概要

### 助成テーマ一覧

#### 1. 研究テーマ「日独の若者文化・ライフスタイルの研究」

- (1) 映画・音楽・漫画・アートなどに関わる文化・消費活動の動向
- (2) ファッション・食生活・居住形態などに関わる生活実態の動向
- (3) 教育・労働・恋愛・結婚などに関わるライフスタイルの変容
- (4) 移民・マイリティ・ジェンダー・環境などに関わる社会意識・運動の変容

#### 2. 助成対象

- (1) 個人研究、グループ研究のいずれも可
- (2) 申請代表者・メンバーの国籍・所属は問いませんが、日本またはドイツに在住する研究者で、2019年1月10日現在40歳未満の研究者に限る。
- (3) テーマに沿った人文社会科学的な研究が助成対象

#### 3. 助成金額及び助成対象期間

- (1) 個助成金額 : 1件につき30万円 採択件数 : 4件 (予定)
- (2) 助成期間 : 該当年度4月1日～翌年度1月31日の10ヶ月

## 一般財団法人山岡記念財団 若者文化シンポジウム

日独の若者文化・ライフスタイルの研究

### 越境するカルチャー ～日本とドイツ～

#### <研究発表>

- 13:35 — 研究発表 ① 漫画とアニメの影響を受けた日本の若者ドイツ体験  
テイモ・テーレン氏
- 14:05 — 研究発表 ② 現代日本のマンガにおける中近世ドイツ表象  
林 祐一郎氏
- <休憩>
- 14:45 — 研究発表 ③ ベルリン在住日本人アーティストの活動一定住と移動のはざままで  
高橋 かおり氏
- 15:15 — 研究発表 ④ 異文化間における日本ゲームの受容：日・独プレイヤーの体験比較  
ステファン・ブリュックナー氏
- 15:45 — 研究発表 ⑤ 日独の若者におけるライフスタイルを通じた政治と社会運動  
富永 京子氏
- <休憩>
- 16:30 — 総合討論



2019年度研究助成5名、報告

日独に関する漫画、アニメ・ゲームから、アーティストの活動実態や社会運動まで、幅広いテーマの報告があり、シンポジウムから交流会まで、報告者と聴衆の境なく、活発な意見交換が行われた。



パネルディスカッション



次年度助成採択通知書授与（3名）









京都大学キャンパス内のカフェレストラン  
カンフォアにて交流会（40名参加）

## 研究助成論文集

日独の若者文化・ライフスタイルの研究の進展と、次世代を担う日独の研究者の育成をめざし、研究助成を行っています。  
研究助成を受けた研究者の成果を研究論文集としてまとめ、公開いたします。

## 日独若者文化・ライフスタイル研究 ISSN 2435-7804

### 「越境するカルチャー ～日本とドイツ～」 日独若者文化・ライフスタイル研究 1 (2019年度)

- 論文集のダウンロードはこちら 
- 「漫画とアニメの影響を受けた日本の若者ドイツ体験」   
研究代表者 ティモ・ティーレン
- 「現代日本のマンガにおける中近世ドイツ」   
研究代表者 林 祐一郎
- 「ベルリン在住日本人アーティストの選択と生活 一移動と滞在のはざままで」   
研究代表者 高橋 かおり
- 「異文化間における日本ゲームの受容：日・独プレイヤーの体験比較」   
研究代表者 ステファン・ブリュックナー
- 「日独の若者におけるライフスタイルを通じた政治と社会運動」   
研究代表者 富永 京子



## 学 術

### 第3回 科学技術講演会 & 交流会

～再生可能エネルギーの技術的対応とスマート活用～

- 開催日時 : 2019年3月27日(水)
- 会場 : 京都大学、国際科学技術イノベーション棟
- 講演
  - ・ヨハン・ザートホフ (Büro Johann Saathoff) 氏  
ドイツ連邦議会議員  
連邦議会の経済・エネルギー委員会の委員
  - ・中岩 勝 氏  
国立研究開発法人産業技術総合研究所長  
福島再生可能エネルギー研究所長 工博
- 総合討論、パネリスト
  - ・手塚 哲央 教授 京都大学大学院エネルギー科学研究科  
エネルギー社会・環境科学専攻
  - ・田口 彰 氏 株式会社タクマ  
エンジニアリング統轄本部 執行役員 技術センター長
- 入場者数 : 163名



ザートホフ氏 講演



中岩氏、講演



総合討論



講演会後、ホワイエでの交流会

学術

## 第4回 科学技術講演会 & 交流会

～持続可能な社会にむけた食と農林水産業のありかた～

本年度サブテーマ：地球温暖化が植物に与える影響

2020年3月19日：延期

2021年3月24日：開催予定

クリスティアン・ツェルプ氏 ホーエンハイム大学 教授  
栽培作物研究所 常任理事  
植物性作物及びブドウ栽培品質講座教授

藤田 泰成氏 国立研究開発法人国際農林水産業研究センター  
生物資源・利用領域 主任研究員  
筑波大学生命環境系教授

開催団体 山岡記念財団  
第4回 **科学技術講演会**  
持続可能な社会にむけた食と農業のありかた  
地球温暖化が植物に与える影響

—テクノロジーで、新しい豊かさへ—

14:00～16:00	講演会
16:00～17:00	宴会付録
17:00～18:00	交流会

2020年3月19日(木)

京都大学国際科学イノベーション棟  
(後藤館シンポジウムホール)

入場料  
一般：500円  
学生：200円  
児童無料

**藤田 泰成 准教授**  
Yamamoto Takanari, Ph.D.  
国立研究開発法人国際農林水産業研究センター  
生物資源・利用領域 主任研究員  
筑波大学生命環境系教授

**クリスティアン・ツェルプ 教授**  
Prof. Dr. Christian Ziegler  
国立研究開発法人国際農林水産業研究センター  
植物性作物及びブドウ栽培品質講座教授

主催 一般財団法人 山岡記念財団 〒620-0014 京都府京都市左区 1-2-1 福野グレートタワー 18F  
Tel. 075-523-4717 Fax. 075-752-2111 E-mail: yamaoka-memorial@yamaoka.or.jp

協賛 筑波大学 山岡記念財団 京都大学 京都府 京都府農業振興課



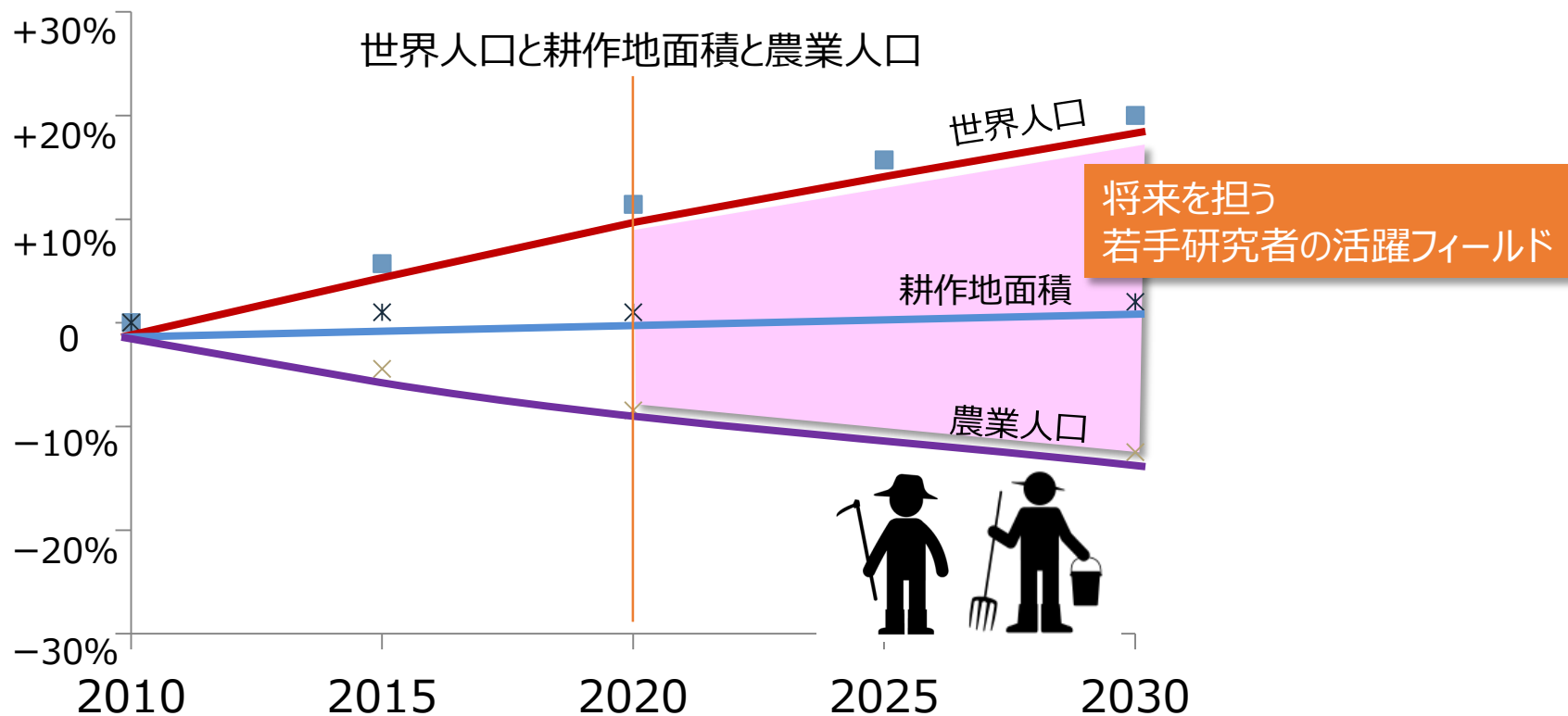


## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



この事業が、17の目標（ありたい姿）を越えて、169のターゲットの具体的な実践につなげること



出典：Freedonia Industry Study #2892  
平成22年版 食糧・農業・農村白書

財団が実施する科学技術講演会は、場・機会の提供であり、  
大学や大学のURA連携することで、具体的なSDGsターゲットの解決につなげていきたい

これまで、コミュニケーションを主体に展開してきた。

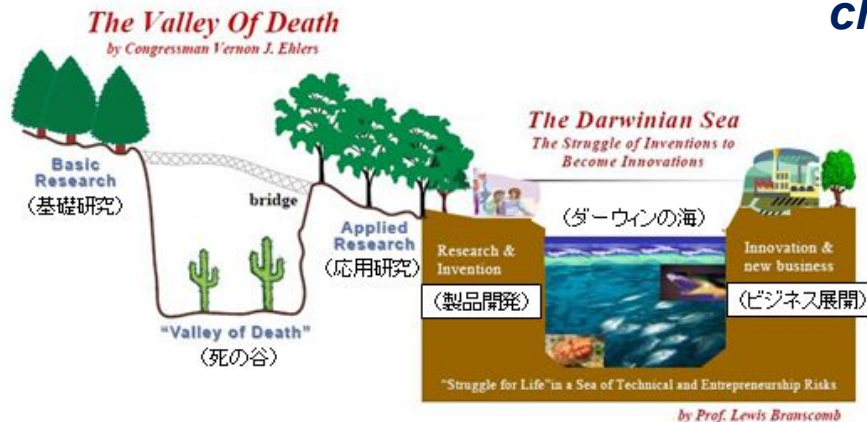
Covid-19 が世界を席卷するなかでの取組みは？

最も強いものや、最も賢いものが生き残るのではない。  
最も環境変化に対応できるものが生き残る。  
(種の起源: ダーウィン)

***It is not the strongest of the species that survives, nor the most intelligent that survives. It is the one that is the most adaptable to change.***

## 死の谷とダーウィンの海

Crossing the Valley of Death only to Arrive  
in the Waters of the Darwinian Sea



"Unlocking the Future" (1998), L. Branscomb 議会証言 (2001), C. Wessner OECD 講演資料 より。

## 大（老舗）企業における新規事業

（伝統がある）大学における価値創造？

新規事業に新しいDNAを  
与えることには、既存組織は抵抗する

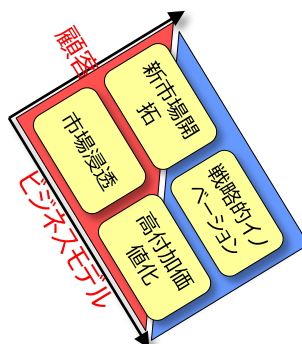
既存  
事業

業務に精通した人材

階層構造

固定給色強い  
説明責任重視

リスクを避ける



スタッフ

組織構造

システム

組織文化

新規事業が保有すべき  
既存事業とは違うDNAの4要素

新規  
事業

ビジネスクリエーター

フラット

柔軟な報酬体系  
学習能力重視

リスクを受け入れる